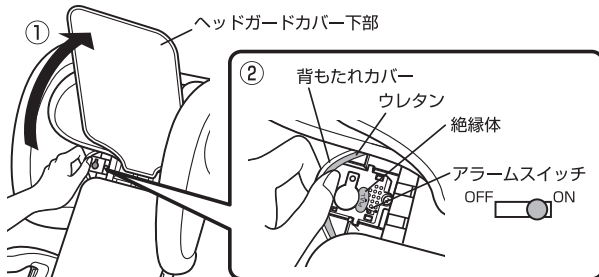


ご使用になる前に

このたびは、コンビ製品をお買いあげいただきましてありがとうございます。
本製品は、チャイルドモード使用時に、トップテザーを正しく取り付けするため、
テザーベルトが緩んでいる際にお知らせするアラーム機能が付いています。
工場出荷時、アラームスイッチはON(右)の状態になっています。
絶縁体を外すとアラーム音が鳴り始めます。

※使用する前に必ず取扱説明書を読んでください。

取り扱い説明動画



ご購入時に組み込まれている電池は、機能・性能をみるための動作確認用電池です。
アラーム音が鳴らない場合は、アラームスイッチがOFF(左)になっていることを確認してから、新品の電池と交換してください。
車への取り付け時、絶縁体が外れていること、アラームスイッチがON(右)になっていること、アラーム音が鳴ることを確認してから、車に取り付けてください。
※動作確認用電池は保証対象外となります。

電池の使いかたを間違えますと、漏液、発熱、破裂のおそれがあり、ケガや事故、故障などの原因となりますので以降のことを必ずお守りください。

△注意

リチウム電池CR2032以外は使用しないでください。

- 電池に記載されている危険・警告内容をよくお読みの上、ご使用ください。
- +、-（プラス、マイナス）を正しくセットしてください。
- 電池をショートさせたり、充電、分解、加圧、加熱、火の中に入れてたりしないでください。
- 傷、凹みのある電池は使用しないでください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は、使用しないでください。
- チャイルドモード使用後は必ずアラームスイッチをOFF(左)にしてください。
- 使い切った電池はすぐに取りはずしてください。
- 長期間使用しない場合には、電池を取りはずしてください。
- アラームスイッチがON(右)の状態、電池の交換はしないでください。
- 使用済みの電池は地域の収集・回収方法にしたがい処分してください。
- 電池が液漏れ・発熱・変形した場合はすぐに取り出し、使用を中止してください。
- 電池から漏れた液体が目・皮膚についた場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診断・治療を受けてください。
- 電池は火の近く、高温、多湿の場所での保管はしないでください。
- 電池はお子さまの手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- 電池の入れ替えは、お子さまの手の届かないところで、大人のかたが行ってください。
- ご購入時に組み込まれている電池は動作確認用ですので、早く消耗したり、正常に作動しない場合があります。

△警告

Combi

コンビ チャイルドシート ジョイトリップ アドバンス air シリーズ

取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本書は座面カバー下の取扱説明書収納部に保管してください。
- 69ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。



お使い
いただく
前に

各部の
使いかた

チャイルド
モードの
使いかた

ジュニア
モードの
使いかた

お手入れ・
その他

本製品は、UN R129/03において認可されたi-Sizeチャイルドシート/i-Sizeプースターシートです。

●ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX取付金具(パー)とトップテザーアンカーを装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書でISOFIXサイズクラスに適合しているか確認してください。

●ジュニアモードでは、UN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。

モード	お子さまの条件
チャイルドモード	身長: 76cm ~ 105cmまで かつ 月齢 15ヵ月以上 ※体重 20kgを超えるお子さまには使用できません。
ジュニアモード	身長: 100cm ~ 150cmまで



危険

お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。
【チャイルドモード】身長 76cm ~ 身長 105cmまでかつ月齢 15ヵ月以上
(※体重 20kgを超えるお子さまは、使用できません。)
【ジュニアモード】身長 100cm ~ 150cm まで



注意

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。

もくじ

お使いいただく前に

各部のなまえ	3
ご使用の条件	6
取り付けできる座席	7
車両シートベルトの種類と使用上の注意(シートベルト使用時)	8
取り付けできない座席	9
安全にお使いいただくために	12
組み立て	20

各部の使いかた

リクライニングのしかた	22
-------------	----

チャイルドモードの使いかた

取り付け準備	25
車への取り付けかた	27
取り付け完了チェックのしかた	33
電池の取りはずしかた・取り付けかた	35
車からの取りはずしかた	37
幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた	39
お子さまの座らせかた	41
お子さまのおろしかた	44

ジュニアモードの使いかた

ジュニアモードへの変更のしかた	45
取り付け準備	51
車への取り付けかた	52
お子さまの座らせかた	55
取り付け完了チェックのしかた	58
チャイルドモードへの戻しかた	59

お手入れ・その他

ドリンクホルダーの使いかた	60
カバーの取りはずしかた・取り付けかた	61
収納モードへの変更のしかた	64
収納モードでの保管のしかた・持ち運びかた	66
お手入れのしかた	67
保管・廃棄のしかた	68
品質保証書	69
お問い合わせ先	裏表紙

お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。





〈中古品のご使用について〉

- 使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

- ご使用前に、69ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。
 - ①製品名とロットNo.（座面背面に貼ってあるシールに記載されています）
 - ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③販売店名
- レシート（領収書）を本書といっしょに保管してください。

※本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

※製品により仕様が異なる場合があります。
また製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

お使いいただく前に

梱包内容

- 本体



- ドリンクホルダー



- ISOFIX キャップ



- 取扱説明書（本書）

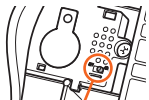


- お客様登録カード



正面

背もたれカバー内側



アラームスイッチ

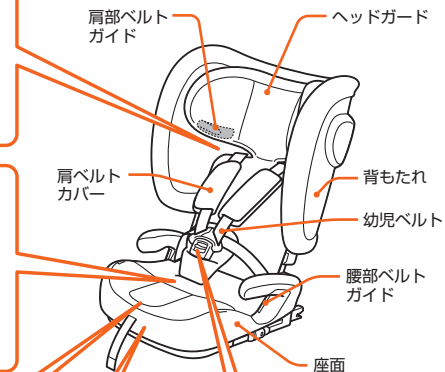


取扱説明書収納部

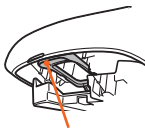
ベルト調節ボタン



調節ベルト

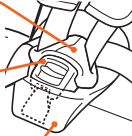


座面裏



リクライニングレバー

差込タンゲ



バックル

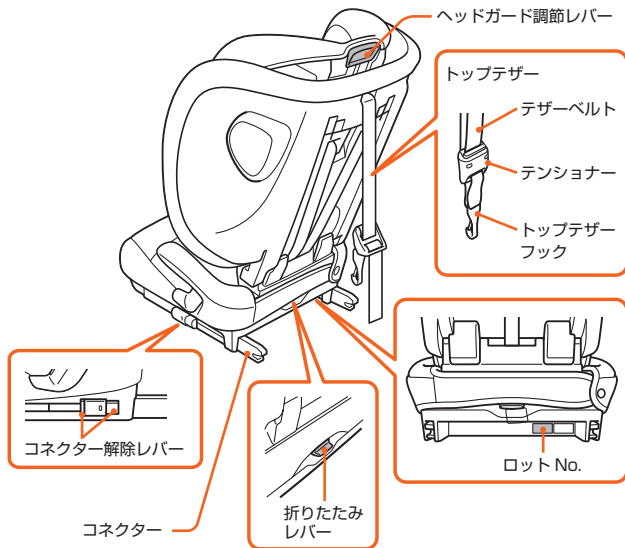
股ベルトカバー

お使いいただく前に

各部のなまえ



背面

お使いいただく前に



ご使用の条件

お子さまの身長に合わせて以下のモードで使用します。

モード	チャイルドモード	ジュニアモード
使用状態		
条件	身長 76cm ~ 105cm まで かつ 月齢 15ヵ月以上 (※体重 20kg を超えるお子さまは、使用できません。)	身長 100cm ~ 150cm まで
お子さまの拘束方法	チャイルドシートの幼児ベルトでお子さまを拘束します。	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。
チャイルドシートの車両への固定方法	コネクターとトップテザーで車両座席に固定します。	コネクターとお子さまを拘束している車両シートベルトで車両座席に固定します。
		お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。

お使いいただく前に



危険

お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。
【チャイルドモード】身長 76cm ~ 身長 105cm までかつ月齢 15ヵ月以上 (※体重 20kg を超えるお子さまは、使用できません。)
【ジュニアモード】身長 100cm ~ 150cm まで

取り付けできる座席

ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。

ただし、ISOFIX 取付金具（バー）を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIX サイズクラスに適合しているか確認してください。

車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

www.combi.co.jp/childseat/seat_search/

本製品のISOFIX サイズクラス

コンビ 適合 検索



お子さまの身長	固定具
76cm～105cm	F2X

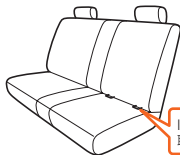
お子さまの身長	固定具
100cm～150cm	B2

※身長が135cmを超えるお子さまにご使用の場合、全ての認可された着座位置に取り付けられるものではありません。

チャイルドモード（身長：76cm～105cm）で使用する場合

ISOFIX 取付金具について

ISOFIX 取付金具とは、ISOFIX チャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座面の間に装備された金具（バー）です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

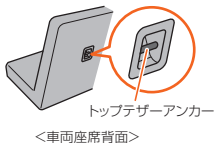


トップテザーアンカーについて

トップテザーアンカーとは、トップテザーフックを固定するために、車両に装備された金属（バー）です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

※トップテザーアンカーの位置の例

<ラゲジスペース> <リアパーセルシェルフ>



<車両座席背面>



<フロア>



<天井>



車両シートベルトの種類と使用上の注意(シートベルト使用時)

ジュニアモード(身長:100cm~150cm)で使用する場合

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

お使いいただく前に



危険

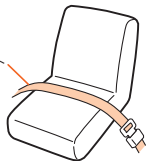
- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

2点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



腰ベルト



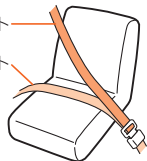
3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



肩ベルト

腰ベルト



シートベルトの種類と特徴(見分けかた)		取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。 シートベルトを1度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	使用できません。

※シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

取り付けできない座席

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

※ 助手席への取り付けはエアバッグの有無に関わらずおすすめできませんので、車種適合調査は行っていません。

お使いいただく前に

●エアバッグ装備の座席。

…サイドエアバッグのみの場合には使用できません。



●進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



●極端なバケットシート。

…座面の中央が深くへこんでいる座席。



●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



●車両ヘッドレストが極端に出っぱっている座席

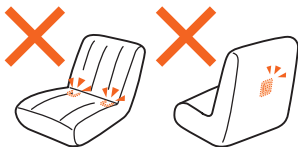
…車両ヘッドレストの形状により、リクライニング操作やチャイルドシートのヘッドガード調節操作ができない座席。

※ 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずすことで操作が可能になれば、その座席でも取り付けできます。



※チャイルドモードでの使用時のみ

- ISOFIX取付金具(バー)、トップテザーアンカーが装備されていない座席。



※チャイルドモードでの使用時のみ

- トップテザーベルトを収納状態のまま、取り付けないでください。必ずトップテザーベルトを車両のトップテザーアンカーに取り付けて、長さを調節してください。



取り付けできない座席

お使いいただく前に

※ジュニアモードでの使用時のみ

- 車両シートベルトの付いていない座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ

- 2点式シートベルトの座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ

- 車両シートベルトの長さが極端に短い座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ

- パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

…車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



※ジュニアモードでの使用時のみ

- 車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。

…チャイルドシートの腰部ベルトガイドの位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。



⚠️ 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- 使用条件に**適合しない**お子さまや、**取り付けできない**座席などでは、**使用しない**でください。



- **エアバッグ**装備の座席では、チャイルドシートを**使用しない**でください。

衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

… サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- お子さまがチャイルドシートの上に**立ったり**、**中腰になったり**、**正座をしない**ように注意してください。

※ **チャイルドモード**で使用の場合、お子さまを座らせたときには、お子さまに**股ベルトカバー**、**幼児ベルト**が正しく装着され、左右の**差込タンク**がしっかりバックルに差し込まれ、**表示が緑色**に変わっていることを確認してください。



- **チャイルドモード**で使用の場合、本製品は**車両シートベルト**で固定することはできません。

安全にお使いいただくために

⚠ 危険

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。
- ジュニアモードで使用の場合、お子さまを座らせたとき、**車両シートベルトの差込金具が車両バックルに正しく差し込まれており、はずれないことを確認してください。**



お使いいただく前に

⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、(ジュニアモードで使用の場合は車両シートベルトをはずして) すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因になります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- お子さまが座っていないときでも、コネクターおよびトップテザーフック(チャイルドモード使用時)または車両シートベルト(ジュニアモード使用時)で固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなることがあります。



安全にお使いいただくために

警告

- チャイルドモードで使用の場合、
幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- チャイルドモードで使用の場合、
お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タンクがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の動きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。



- チャイルドモードで使用の場合、
バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



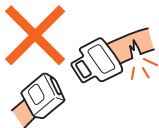
- チャイルドモードで使用の場合、
幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- チャイルドモードで使用の場合、
差込タンクを差し込む際は、お子さまの手足や衣類をはさまないように注意してください。

警告

- ジュニアモードで使用の場合、
車両シートベルトに傷がある場合は、
その座席に取り付けないでください。



- ジュニアモードで使用の場合、
チャイルドシート固定機能付きシート
ベルトのときは、固定機能を働かせな
いください。お子さまが締め付けら
れ、胸が圧迫されます。



お使いいただく前に

安全にお使いいただくために

⚠️ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。

お使いいただく前に

- チャイルドシートを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。

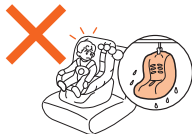


- 直射日光があたると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがヤケドをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 座席の表皮素材(革など)や形状によっては、座席に傷や跡がつくおそれがあります。

- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材ははずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。



- お子さまを乗せた状態で、取り付け・取りはずし・持ち運びはしないでください。

⚠ 注意

- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。



- 車両座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。



- チャイルドシートを通常のいすとして使用すると、転倒してケガの原因となります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。



- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。
- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。
- 幼児ベルトを持ってチャイルドシートを持ち運びしないでください。

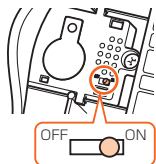
安全にお使いいただくために

⚠ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

お使いいただく前に

アラームスイッチがON(右)になっており、アラーム音が鳴っていないこと



差込タングがしっかりとバックルに差し込まれていること

リクライニングのレバーが正規の位置に戻っていて、シートが確実に固定されていること

チャイルドシートが車両座席にしっかりと固定されていること(本体を前後左右にゆすり、確認してください)

トップテザーのテンショナーのインジケーターが「緑色」になっていること

幼児ベルトが正しい位置に調節されていること

幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること

コネクターが車両のISOFIX取付金具にしっかりと固定されていること

コネクター解除レバーのインジケーターがロック状態(緑色の表示が見える状態)になっていること



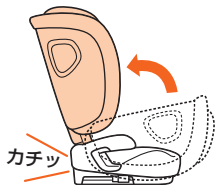
- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず**幼児腰ベルトを低く下げる**こと

工場出荷時、本製品は背もたれを折りたたんだ状態になっています。



- 組み立てるときは、平らでやわらかい床の上で行ってください。製品の破損や床への傷つきを防ぎます。
 - 組み立てるときは、周囲の人にも気をつけて指などはさまないように注意してください。
- ※組み立てたチャイルドシートの背もたれと座面は動きません

- ①背もたれをゆっくり後方に「カチッ」と音がするまで起こす。
- ②背もたれを前後に動かし、背もたれが前方へ倒れないことを確認する。



お使いいただく前に

組み立て

本製品は、トップテザーを正しく取り付けするため、テザーベルトが緩んでいる際にお知らせするアラーム機能が付いています。

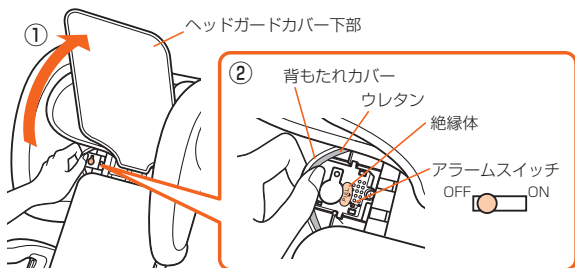
工場出荷時、アラームスイッチはON(右)の状態になっています。絶縁体を外すとアラーム音が鳴り始めます。

①ヘッドガードカバー下部をめくり上げ、さらに背もたれカバーとウレタンをめくる。

②絶縁体を抜き、ピピという音を確認し、スイッチをOFF(左)にする。

※チャイルドシートを取り付ける際は、アラームスイッチをON(右)にして下さい。
(31ページ「車への取り付けかた」9の手順参照)

お使いいただく前に



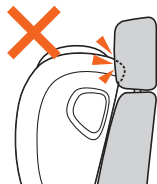
- 電池を取り付けるとアラーム音が鳴り始めます。
- ご購入時に組み込まれている電池は、機能・性能をみるための動作確認用です。アラーム音が鳴らない場合は、新品の電池と交換してください。
- アラームスイッチがOFF(左)になっていることを確認してから、新品の電池を交換してください。(35ページ「電池の取りはずしかた・取り付けかた」参照)



警告

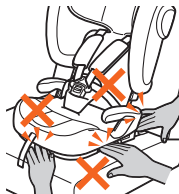
チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
 - 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
- ※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。



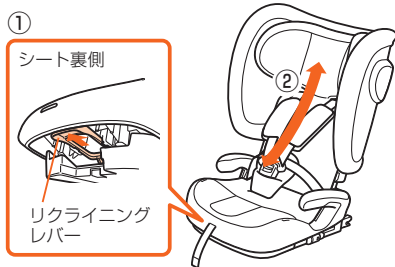
注意

- シートの背部やリクライニングの下部のすき間に指や手などを入れたまま、リクライニング操作をしないでください。
- 同乗者の手元にも十分ご注意ください。
- リクライニング操作は、必ず車を停車させて行ってください。
- リクライニングおよび本体のすき間にゴミや飲食物などの異物が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。リクライニング操作を行う際、動作不良が生じた場合は当社コンシューマープラザまでお問い合わせください。



リクライニングのしかた

- 1 ①本体シート下にあるリクライニングレバーを手前に引きながら、
②シートのリクライニング角度を調節する。



注意

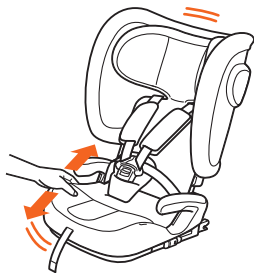
- リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

- 2 レバーから指を離してシートを前後左右にゆすり、ロックされていることを確認する。



警告

操作後、リクライニングレバーが元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります)



お子さまの様子にあわせて、5段階に角度を調節することができます。

- リクライニング角度を2～5段階にすると、車両シートとチャイルドシートの間ですき間ができます。
- チャイルドシートを取り付ける際は、背もたれのリクライニング角度を初期位置（1段階）に調節する必要があります。



各部の使いかた

ワンポイント



チャイルドモードでリクライニング角度を変更した場合は、テザーベルトがゆるむ可能性があります。必ず再度テザーベルトのゆるみを確認し調節してください。(31ページ「車への取り付けかた」9の手順参照)

取り付け準備



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- チャイルドモードでの使用時は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。

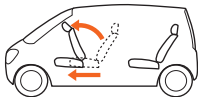
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html



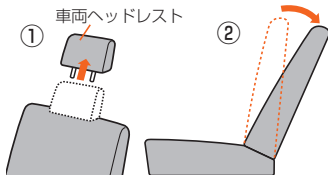
- 1** ① 取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。



- ② 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。

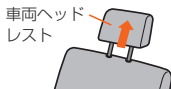


- 2** ①車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。
 ※取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
 ②車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。



ワンポイント

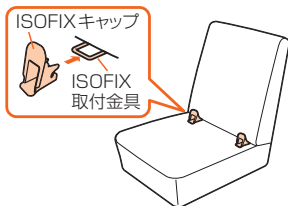
車両ヘッドレストが取りはずせない場合は、1番上まで上げてください。



ワンポイント

車種適合に「トップテザーは、車両ヘッドレストを付けた状態で取り付けてください」と表記があった場合は、車両ヘッドレストを可能な限り低い高さに調節し、車両ヘッドレストの上にテザーベルトを通して取り付けてください。

- 3** ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



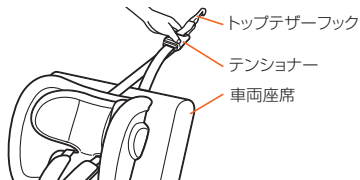
ワンポイント

ISOFIX取付金具が車両座席にかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両座席によっては取り付けるとチャイルドシート背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。

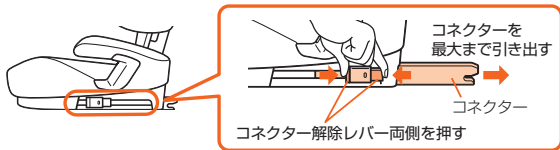


車への取り付けかた

- 1 チャイルドシートの背もたれのリクライニング角度を初期位置(1段目)に調節する。(23ページ「リクライニングのしかた」参照)
- 2 本体を車両座席に置き、トップテザーフックとテンショナーを車両座席後方に出しておく。

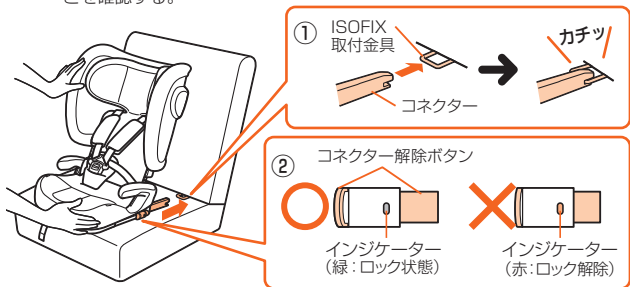


- 3 コネクターを引き出す。
本体側面のコネクター解除レバー両側を押しながら、左右のコネクターを最大まで引き出す。
※左右それぞれ作業を行ってください。



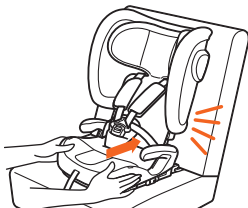
4 ISOFIX取付金具にコネクターを取り付ける。

- ① 車両座席の左右ISOFIX取付金具に「カチッ」と音がするまで、それぞれコネクターを差し込む。
- ② 左右のコネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



5 チャイルドシートの背面が車両背もたれに接するまで、座面を押し込む。

- ① 座面側面を持ち、チャイルドシート背面が車両背もたれに接するまでしっかりと押し込む。反対側も同様に押し込み、左右均等に車両背もたれに接するよう調節する。
- ② 再度コネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



ワンポイント



- 座面を押し込む際は、左右で押し込み量の差が大きにならないよう確認しながら、調節してください。
- 車両によっては、しっかり押し込んでもチャイルドシート背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。

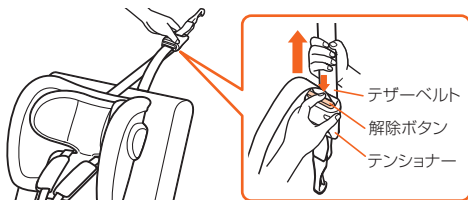
車への取り付けかた

- 6 チャイルドシートと車両の背もたれとの間にすき間ができないように、車両の背もたれを調節する。

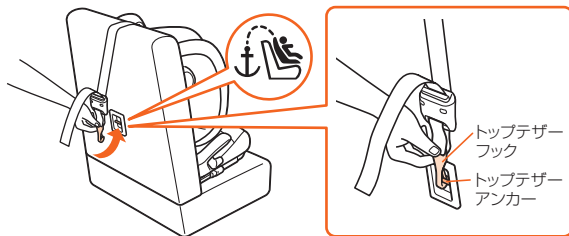


チャイルドシートと車両背もたれのすき間が極端に空いた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

7 テンショナーの解除ボタンを押しながらテザーベルトを引き、ゆるめる。



8 トップテザーアンカーにトップテザーフックを固定する。 ※イラストはトップテザーアンカーが車両座席の背面にある場合



チャイルドモードの使いかた

ワンポイント



トップテザーアンカーの位置は車種によって異なります。トップテザーフック取り付けの詳細については車両の取扱説明書をよくお読みください。

※車両座席の背面以外のトップテザーアンカー位置の例

<ラゲジスペース>



<リアバーセルシェルフ>



<フロア>



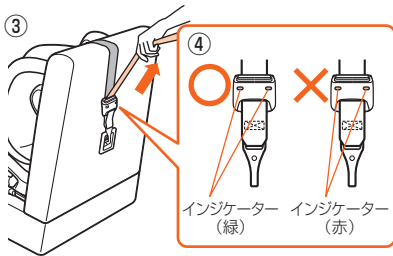
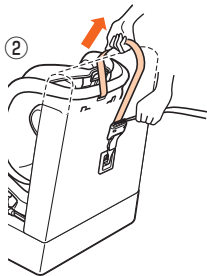
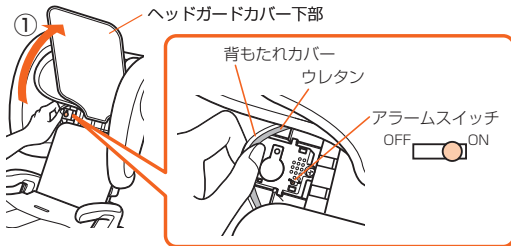
<天井>



車への取り付けかた

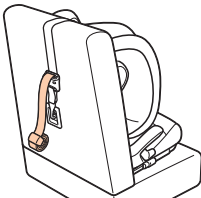
本製品は、トップテザーを正しく取り付けるため、テザーベルトが緩んでいる際にお知らせするアラーム機能が付いています。

- 9**
- ①ヘッドガードカバー下部をめくり上げ、さらに背もたれカバーとウレタンをめくる。
アラームスイッチをON(右)にし、アラーム音が鳴ることを確認する。
 - ②本体テザーベルト出口側のテザーベルトを、アラーム音が鳴らなくなるまで引く。
 - ③テンショナーから出る側のテザーベルトを、本体テザーベルト出口側のテザーベルトのたるみがなくなるまで強く引く。
 - ④テンショナーのインジケーターが「緑色」になるまで強く締めた後、手を放し、アラーム音が鳴らないことを確認する。





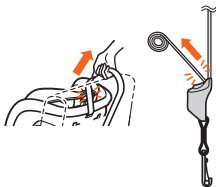
トップテザー取付完了後、あまったテザーベルトは、お子さまに絡まったり、車両ドアにはさむなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。お子さまの手の届かない位置でまとめてください。



ワンポイント



- テザーベルトを引く方向は、トップテザーアンカーの位置によって異なります。それぞれテザーベルトの出口、テンショナーに近い位置を持ち、強く引いてください。
- 車両座席のリクライニングを変えた場合、再度テザーベルトを調節しなおしてください。



ワンポイント



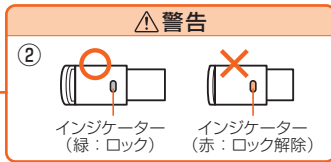
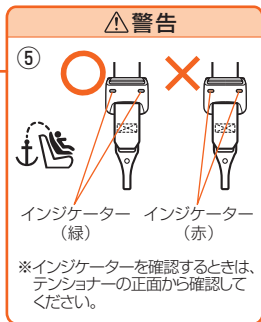
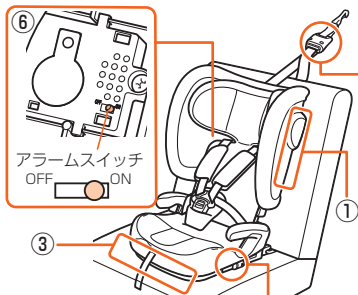
- チャイルドシートのリクライニングを使用する場合は手順9の後に操作してください。
- チャイルドシートのリクライニングを変えた場合、テザーベルトが緩む可能性がありますので再度調節しなおしてください。

取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ① 車両座席の背もたれとチャイルドシートの間に大きなすき間がないこと。
 - ② コネクター解除レバーのインジケーターがロック状態（緑色の表示が見える状態）になっていること。
 - ③ 本体が左右均等に車両背もたれに接するよう調節し、進行方向に対してまっすぐになっていること。（コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。）
 - ④ チャイルドシートを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていること。
 - ⑤ テンショナーのインジケーターが「緑色」になっていること。
 - ⑥ アラームスイッチがON（右）になっており、アラーム音が鳴っていないこと。
- ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

チャイルドモードのしかた



ワンポイント



車両によってはシートのひじかけなどがインジケーターを隠し、目視での確認が困難な場合があります。その際は、ISOFIX 取付金具へコネクターを差し込み時に左右のコネクターが「カチッ」と音がするまで差し込まれたことを確認してください。その後、ジュニアシートの座面を持って前方向に引っ張り、ジュニアシートが動かさず左右差による斜め取り付けがなく、しっかり取り付けられていることを確認してください。

電池の取りはずしかた・取り付けかた

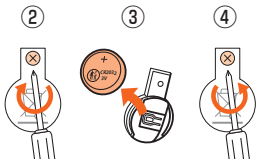
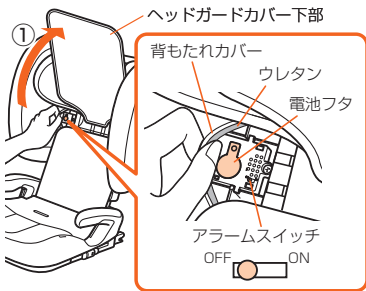
本製品は、トップテザーを正しく取り付けるため、テザーベルトが緩んでいる際にお知らせするアラーム機能が付いています。

- 電池を取り付けるとアラーム音が鳴り始めます。
- ご購入時に組み込まれている電池は、機能・性能をみるための動作確認用電池です。アラーム音が鳴らない場合は、新品の電池と交換してください。
- アラームスイッチがOFF(左)になっていることを確認してから、新品の電池を交換してください。〔電池の取りはずしかた・取り付けかた〕参照)

電池の取りはずしかた

- ① ヘッドガードカバー下部をめくり上げ、さらに背もたれカバーとウレタンをめくる。
アラームスイッチをOFF(左)にする。
- ② 電池フタのネジ(1本)をドライバーで開ける。
- ③ 電池を取りはずす。
- ④ 電池フタを閉じてネジをしっかりと締める。

チャイルドモードの使いかた



ワンポイント

- 電池残量が少なくなると、アラーム音(ピピ音)と次のアラーム音が鳴る間隔が長くなります。間隔の変化を確認した場合は電池を交換してください。



警告

長時間使用しない場合は、電池を取りはずしてください。

電池の取り付けかた

- ① ヘッドガードカバー下部をめくり上げ、さらに背もたれカバーとウレタンをめくる。
アラームスイッチをOFF(左)にする。
- ② 電池フタのネジ(1本)をドライバーで開ける。
- ③ 新しいボタン電池を(+)側が上になるようにセットする。
(3Vボタン電池(リチウム電池CR2032)を使用)
- ④ 電池フタを閉じてネジをしっかりと締める。



注意

リチウム電池CR2032以外は使用しないでください。

電池の使いかたを間違えますと、漏液、発熱、破裂のおそれがあり、ケガや事故、故障などの原因となりますので以降のことを必ずお守りください。

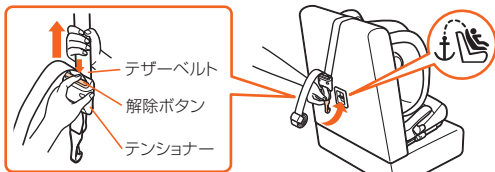


警告

- 電池に記載されている危険・警告内容をよくお読みの上、ご使用ください。
- +、- (プラス、マイナス) を正しくセットしてください。
- 電池をショートさせたり、充電、分解、加圧、加熱、火の中に入れてたりしないでください。
- 傷、凹みのある電池は使用しないでください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は、使用しないでください。
- チャイルドモード使用後は必ずアラームスイッチをOFF(左)にしてください。
- 使い切った電池はすぐに取りはずしてください。
- 長期間使用しない場合には、電池を取りはずしてください。
- アラームスイッチがON(右)の状態、電池の交換はしないでください。
- 使用済みの電池は地域の収集・回収方法にしたがい処分してください。
- 電池が液漏れ・発熱・変形した場合はすぐに取り出し、使用を中止してください。
- 電池から漏れた液体が目・皮膚についた場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診断・治療を受けてください。
- 電池は火の近く、高温、多湿の場所での保管はしないでください。
- 電池はお子さまの手の届かないところに保管してください。
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- 電池の入れ替えは、お子さまの手の届かないところで、大人のかたが行ってください。
- ご購入時に組み込まれている電池は動作確認用ですので、早く消耗したり、正常に作動しない場合があります。

車からの取りはずしかた

- 1 ①テンショナーの解除ボタンを押しながらテザーベルトを引き、ゆるめる。
②トップテザーアンカーからトップテザーフックをはずす。

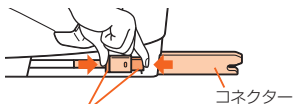
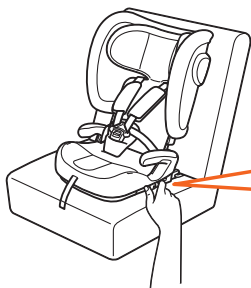


- ③アラームスイッチをOFF(左)にする。
(35ページ「電池の取りはずしかた・取り付けかた」参照)



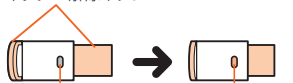
長期間使用しない場合には、電池を取りはずしてください。
電池が消耗してアラームが作動しなくなるおそれがあります。

- 2 左右のコネクター解除レバー両側を押し、インジケーターがロック解除(「赤色」の表示が見える状態)になっていることを確認する。



コネクター解除レバー両側を押し

コネクター解除ボタン



インジケーター
(緑: ロック状態)

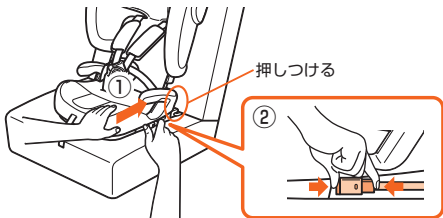
インジケーター
(赤: ロック解除)

コネクターの解除が固いときは

コネクターがきちんと取り付けられていると、車両座席の反発力により、コネクターの解除が固くなる場合があります。固い場合は、以下の方法で片側ずつ車両座席からの反発を押し戻し、解除を行ってください。

- ①コネクターを解除したい側の本体座面を車両シートに押しつけ、
- ②コネクター解除レバー両側を押す。

車両座席がリクライニングできる場合は、倒すとはずしやすくなる場合があります。



幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた

お子さまの成長にあわせ、幼児ベルトとヘッドガードの位置を変えて使います。
幼児ベルトとヘッドガードの位置は、6段階で使用してください。

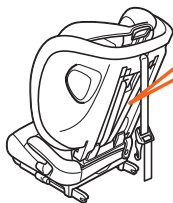
チャイルドモード使用時は、幼児ベルトおよびヘッドガードの高さを1（最下段）～6段目の範囲で使用してください。

6段目に調節する場合は、背面の三角形の印を目安にしてください。

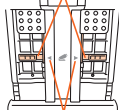
6段目で使用の場合



注意



ヘッドガードに連動するバー

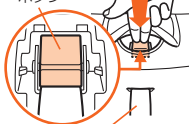


背面にある三角形の
矢印が目印です

- 1** ①ベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
②左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。

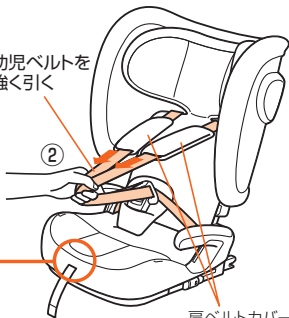
ベルト調節ボタンを
押す。

ベルト調節
ボタン



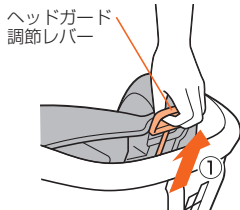
調節ベルト

幼児ベルトを
強く引く



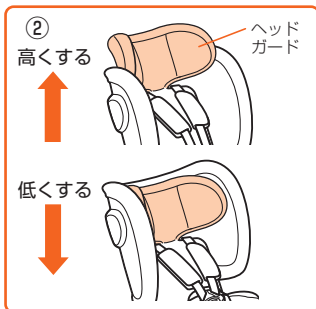
肩ベルトカバー

- 2** ①ヘッドガード調節レバーを引きながら、高さを調節する。
 ②適切な位置でヘッドガード調節レバーから手を離す。
 ③ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。



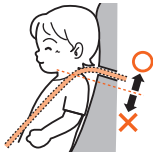
ワンポイント

調節の際はヘッドガード調節レバーを確実に引き上げたまま行ってください。



幼児肩ベルト位置の目安

幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩よりやや高い位置にくるようにヘッドガードの高さを調節してください。



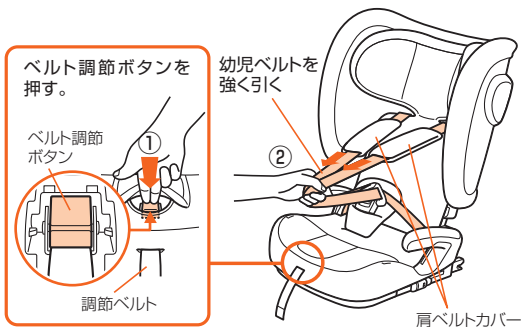
警告 幼児肩ベルト位置を調節すると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置を調節しないでください。



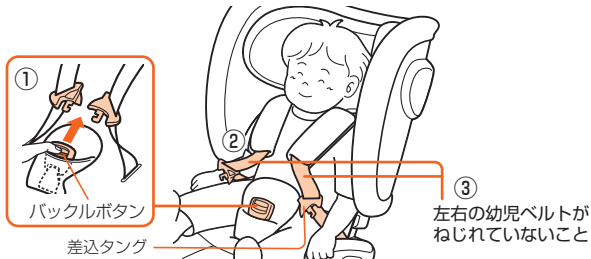
注意 幼児肩ベルト位置を調節時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分にご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。

お子さまの座らせかた

- 1** ①ベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
②左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 2** ①バックルボタンを押し、差込タンクをはすす。
②お子さまを深く座らせ、腕を左右の幼児ベルトに通す。
③左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。

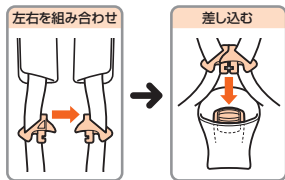


警告

- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。しっかりと拘束できない場合があります。
- お子さまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



- 3** 左右の差込タングを組み合わせ、
「カチッ」と音がするまで、バックルに差し込む。



チャイルドモードの使いかた

危険

チャイルドシートの差込タングがしっかりバックルに差し込まれていることを確認してください。

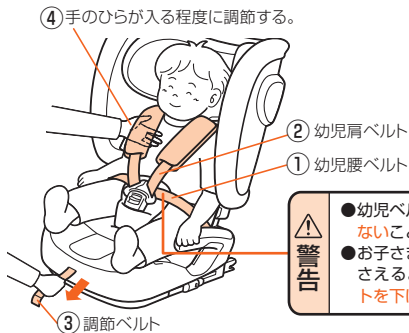
ワンポイント



- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。
- 左右の差込タングを組み合わせないと、バックルに差し込めません。

お子さまの座らせかた

- 4** ①幼児腰ベルトは、骨盤をしっかりと押さえるように、低く下げる。
②幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
※肩ベルト高さ調節は39ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」を参照。
③調節ベルトを手前に引き、
④お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。



警告

- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと。
- お子さまの骨盤をしっかりと押さえるように、必ず**幼児腰ベルト**を下げること。

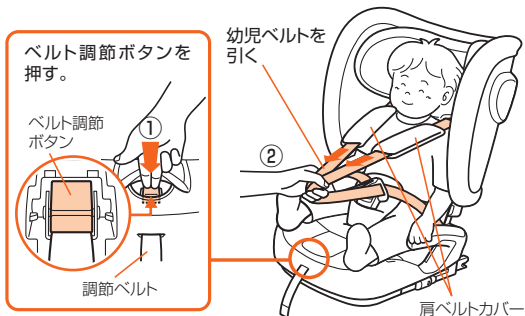


警告

必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

お子さまのおろしかた

- ①ベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
 - ②左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
- ※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。
- ③バックルボタンを押し、差込タンクをはずす。
 - ④お子さまをおろす。



ジュニアモードへの変更のしかた

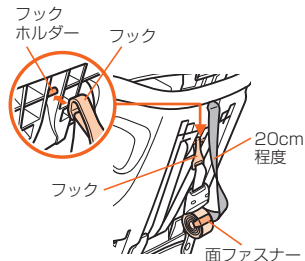
ジュニアモードでは、以下の2通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長 100cm～150cmまで				
お子さまの 拘束方法	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。			
車両への 固定方法	A		B	
	コネクターと車両シートベルトで 取り付けます。		お子さまを拘束している車両シートベルト を使用して車両座席に固定します。	
	車両シートベルト	使用	車両シートベルト	使用
	トップテザー	不使用	トップテザー	不使用
	コネクター	使用	コネクター	不使用
変更の しかた	下記の1～8の手順で操作を行ってください。			
	トップテザー、テザーベルトの収納を行ってください。 (45ページ「変更のしかた」参照)			
			コネクターを収納してください。 (49ページ「Bの変更のしかた」参照)	

変更のしかた

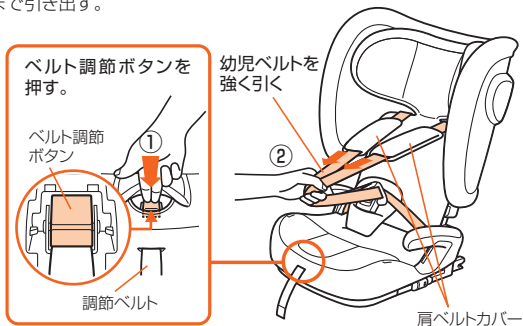
1 アラームスイッチをOFF(左)にする。
(35ページ「電池の取りはずしかた・取り付けかた」参照)

2 トップテザーを収納する。
① トップテザーのフックを背面のフックホルダーに引っかける。
② 本体テザーベルト出口側のテザーベルトを20cmほどになるまでテザーベルトを引き締め、テンショナーから出る側のテザーベルトをまとめて面ファスナーで固定してください。



3 幼児ベルトを引き出す。

- ① 座面シートカバー下のベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
- ② 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引き、幼児ベルトが引けなくなるまで引き出す。



4 ヘッドガードを引き上げる。

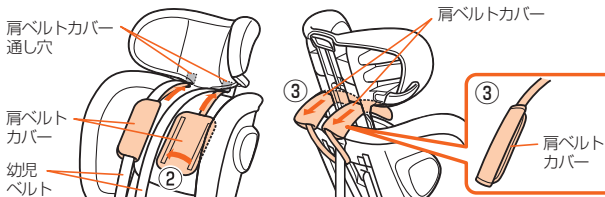
- ヘッドガード調節レバーを引きながら、ヘッドガードを最上段まで引き上げる。
(40ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」2の手順参照)

ワンポイント

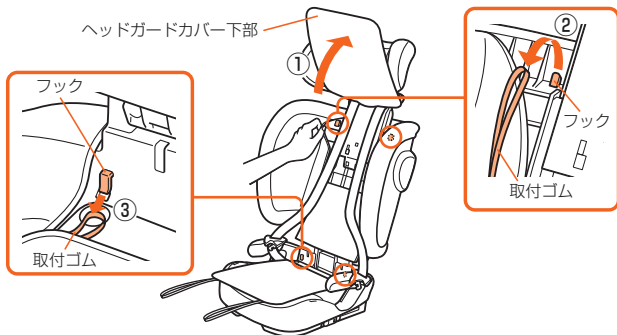
- 幼児ベルトの長さの状態によっては、ヘッドガードが最上段まで引き上がらない場合があります。その場合は再度幼児ベルトを引き出す操作を行い、ヘッドガードの高さを最上段まで引き上げてください。

ジュニアモードへの変更のしかた

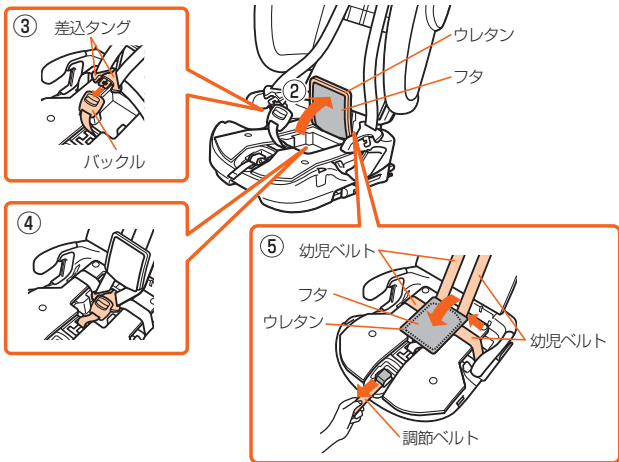
- 5** ①差込タンクをバックルからはずす。
(41ページ「お子さまの座らせかた」2の手順参照)
②肩ベルトカバーを開き、幼児ベルトからはずす。
肩ベルトカバーを細く折りたたみ、通し穴に差し込む。
③肩ベルトカバーを背面から引き出す。



- 6** ①ヘッドガードカバー下部をめくり上げ、
②座面カバー上部の取付ゴム(左右2カ所)をはずす。
③座面カバー上部を前に倒し、下部の取り付けゴム(左右2カ所)をはずす。

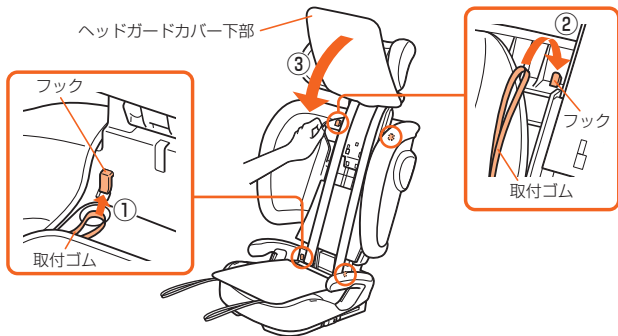


- 7** ① 股ベルトカバーを座面カバーからはずし、座面カバーの穴からバックルを下に抜きながら、座面カバーを取りはずす。
 (63ページ「座面カバーの取りはずしと取り付け」参照)
- ② 座面中央のウレタンをめくり、取扱説明書収納部のフタを開ける。
- ③ バックルに差込タンクを差し込む。
- ④ 差込タンクを差し込んだバックルを収納する。
- ⑤ ウレタンとフタの奥側にあるスリットに幼児ベルトを通す。
 ベルトがねじれないようにフタを閉じ、ウレタンを戻す。
 幼児ベルトにたるみがある場合は、調節ベルトを引いてたるみをとる。



ジュニアモードへの変更のしかた

- 8** ①座面カバーを戻し(63ページ「座面カバーの取りはずしと取り付け」参照)、下部の取り付けゴム(左右2カ所)を取り付ける。
②座面カバー上部の取付ゴム(左右2カ所)を取り付ける。
③ヘッドガードカバー下部を戻す。



車両への固定方法Bの変更のしかた

- 9** **コネクターを収納する。**
固定方法Bで使用する際は、左右のコネクターの収納を行う。本体側面のコネクター解除レバーを押しながら、左右のコネクターを止まるまで収納する。
※左右それぞれ作業を行ってください。





取りはずした肩ベルトカバー、股ベルトカバーを車内に放置しないでください。
車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。
(大切に保管し、なくさないようにしてください。)

● 肩ベルトカバー



● 股ベルトカバー



取り付け準備



危険

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



警告

車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

- 1 チャイルドモードと同様の手順で取り付け準備をする。
(25ページ「チャイルドモードの使いかた／取り付け準備」参照)

車への取り付けかた



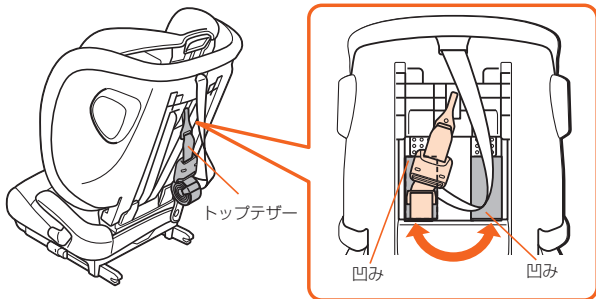
ジュニアモードでは、以下の2通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長 100cm～150cmまで		
お子さまの拘束方法	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
車両への固定方法	A	B
	コネクターと車両シートベルトで取り付けます。	お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。

Aでの取り付け方

- 1** コネクターを取り付ける。
27ページから29ページ「車への取り付けかた」の1、3から6の手順を行う。
33ページ、34ページ「取り付け完了チェックのしかた」①～③の確認を行う。

- 2** 45ページ「変更のしかた」の2でまとめたトップテザーを背面の左右どちらかの凹みに沿わせる。



ジュニアモードの使いかた

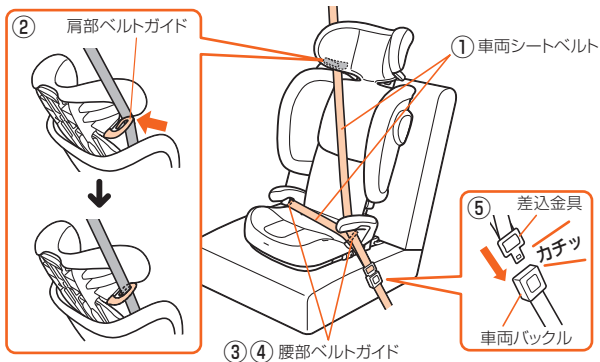
車への取り付けかた

3 車両シートベルトで固定する。

- ① 車両シートベルトを引き出す。
- ② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
- ③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
- ④ 肩部ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
- ⑤ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



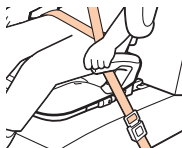
急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、お子さまを座らせていないときでもチャイルドシートを固定してください。



コネクターを使用することで、車両シートベルトや車両バックルの取り付けのさまたげになる場合は、コネクターを使用せず、車両シートベルトだけで取り付けてください。



車両バックルや差込金具が製品本体にあたり車両シートベルトにゆるみができる
と、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しない
でください。ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

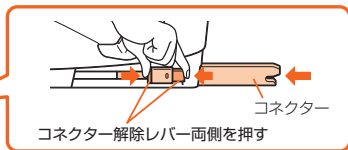
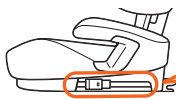


Bでの取り付け方

1 コネクターを収納する。

本体側面のコネクター解除レバーを押しながら、左右のコネクターを止まる
まで収納する。

※左右それぞれ作業を行ってください。



2 トップテザーを収める。

(52ページ「Aでの取り付けかた」2の手順参照)

3 車両シートベルトで固定する。

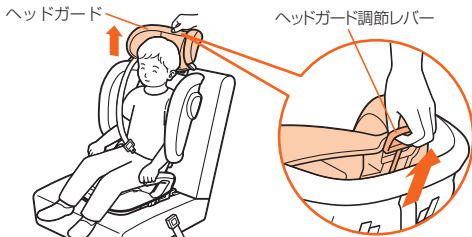
(53ページ「Aでの取り付けかた」3の手順参照)

※ISOFIXキャップが取り付けのさまたげになる場合は、ISOFIXキャップ
をISOFIX取付金具からはずしてください。

お子さまの座らせかた

お子さまの成長にあわせ、ヘッドガードの位置を変えて使います。
ヘッドガードの位置は、15段階に調節することができます。

- 1** 差込金具を車両バックルからいったんはずし、お子さまを深く座らせ、ヘッドガードの高さをお子さまにあわせて調節します。
(40ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」2の手順参照)



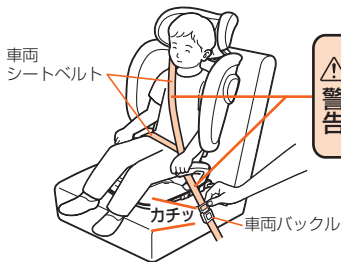
ヘッドガード(肩部ベルトガイド)の高さの目安

肩部ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。



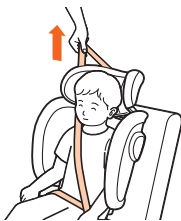
肩部ベルトガイドは、車両シートベルト(肩部)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩部ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドガードの高さを調節し直してください。

- 2**
- ① 車両シートベルトを引き出す。
 - ② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
 - ③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
 - ④ 肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
 - ⑤ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



- 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- 車両シートベルト(腰部)は必ずお子さまの骨盤を押さえるようにすること。

- 3** 車両シートベルトがたるんでいる場合は、車両シートベルト(肩部)を上へ引いて張り具合を調節する。



お子さまの座らせかた

注意

●本製品は、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車両座席からすれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。

●お子さまを下図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。

・のけぞる、前かがみになる。



・お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。



●お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



・中腰・正座・立てひざなどをする。



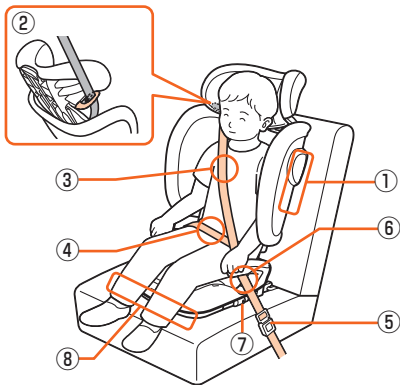
取り付け完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

車両への取り付け方法 A は①～⑨を確認

車両への取り付け方法 B は①～⑥を確認

- ① 車両座席の背もたれとチャイルドシートの間になすき間がないこと。
- ② 車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ③ 車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ねじれやたるみがないこと。
- ④ 車両シートベルトがお子さまの骨盤を押さえていること。
- ⑤ 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑥ 車両シートベルトが左右の腰部ベルトガイドを通っていること。
- ⑦ コネクター解除レバーのインジケーターがロック状態（緑色の表示が見える状態）になっていること。
- ⑧ 本体背面が左右均等に車両背もたれに接するよう調節し、進行方向に対してまっすぐになっていること。（コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。）
- ⑨ チャイルドシートを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていること。



チャイルドモードへの戻しかた

「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずした部品を準備してください。

チャイルドモードへの戻しかたは、(45ページから49ページ「ジュニアモードへの変更のしかた」の逆の手順を行ってください。)



- 「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずした肩ベルトカバー、股ベルトカバーがすべて取り付けられているか確認してください。
- トップテザーとバックルが収納されていないことを確認してください。

●肩ベルトカバー



●股ベルトカバー



ドリンクホルダーの使いかた

ドリンクホルダーの開口部を上にして、ドリンクホルダー取付穴に上から差し込みます。ドリンクホルダーは左右どちらでも取り付け可能です。

※一部の車両では座席の形状によって使用できない場合があります。



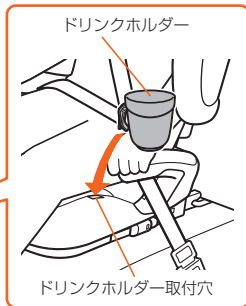
警告

- お子さまの拘束を妨げないように使用してください。
- ドリンクホルダーには熱い飲み物を入れしないでください。
- 取り付けたドリンクホルダーには、手をつくなど大きな力をかけないでください。
- 車両ドアと干渉する場合、反対側に取り付けてください。



注意

- ドリンクホルダーを取り付けたまま持ち運ばないでください。
- ドリンクホルダーはすべてのドリンクサイズには適応できません。ドリンクホルダー内の飲み物が安定していることを確認の上、ご使用ください。



お手入れ・その他

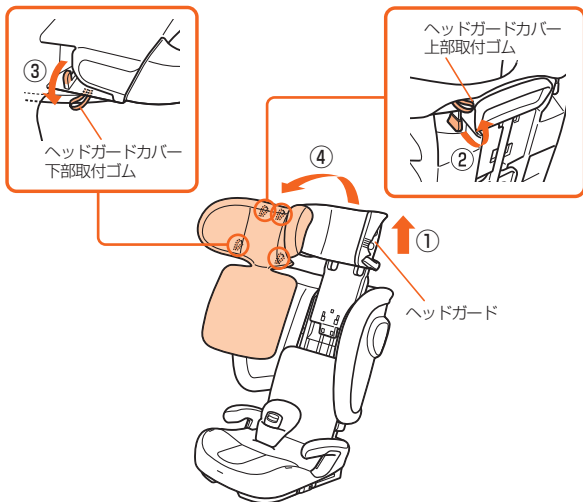
カバーの取りはずしかた・取り付けかた

ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

- ①ヘッドガードを最上段まで引き上げる。
 - ②ヘッドガード背面のヘッドガードカバー上部取付ゴム(左右各1カ所)をはすす。
 - ③ヘッドガード背面のヘッドガードカバー下部取付ゴム(左右各1カ所)をはすす。
 - ④ヘッドガードカバーを上から取りはずす。
- ※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

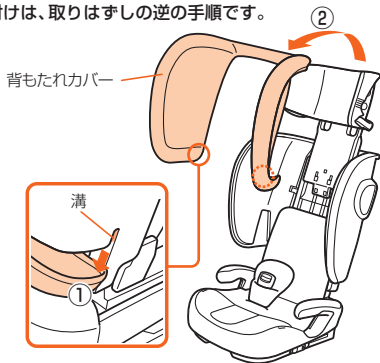
ワンポイント

幼児ベルトの長さの状態によっては、ヘッドガードが最上段まで引き上がらない場合があります。その場合は再度幼児ベルトを引き出す操作を行い、ヘッドガードの高さを最上段まで引き上げてください。



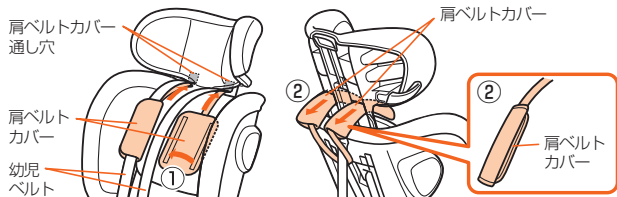
背もたれカバーの取りはずしと取り付け

- ① 背もたれカバーの下部を、本体背もたれ側面の溝からはずす。
 - ② 背もたれカバーを取りはずす。
- ※ 取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け

- ① 肩ベルトカバーを開き、幼児ベルトからはずす。
肩ベルトカバーを細く折りたたみ、通し穴に差し込む。
 - ② 肩ベルトカバーを背面から引き出し、取りはずす。
- ※ 取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

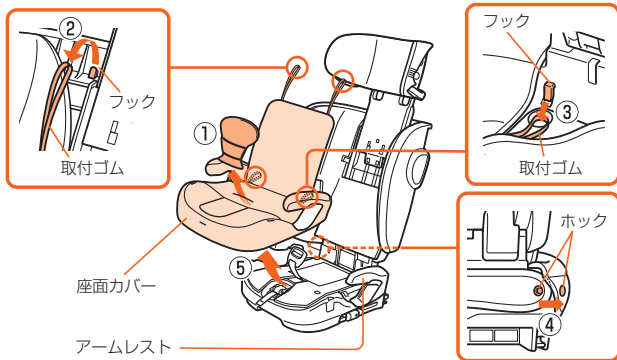


カバーの取りはずしかた・取り付けかた

座面カバーの取りはずしと取り付け

- ① 股ベルトカバーを取りはずす。
- ② 座面カバー上部の取付ゴム(左右各1ヵ所)をはずす。
- ③ 座面カバー下部の取り付けゴム(左右各1ヵ所)をはずす。
- ④ 座面背面のホックをはずす。
- ⑤ アームレスト部分を抜き、バックルを座面カバーの下に抜きながら、座面カバーを取りはずす。

※ 取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



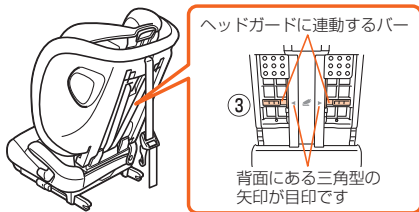
ワンポイント



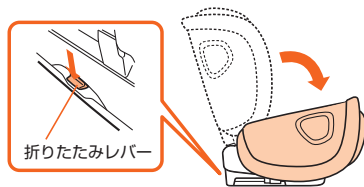
座面カバーを取り付けるときは、カバーの端を腰部ベルトガイドのすき間に①→②→③→④の順に差し込み、最後に全体を整えてください。



- 1**
- ① コネクターを収納する。(49ページ「Bの変更のしかた」参照)
 - ② リクライニングを使用した場合は1段目の位置に戻す。
(23ページ「リクライニングのしかた」参照)
 - ③ ヘッドガードを6段目(背面の三角形の印に合わせる)の高さに調節する。

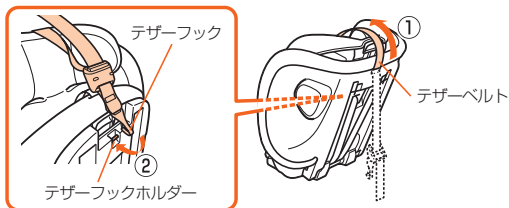


- 2** 折りたたみレバーを下げながら、背もたれを前方に倒し、座面全体を覆うまで折りたたむ。



収納モードへの変更のしかた

- 3** ①テザーフックをヘッドガードの前面にもっていく。
②座面裏のテザーフックホルダーに引っかける。

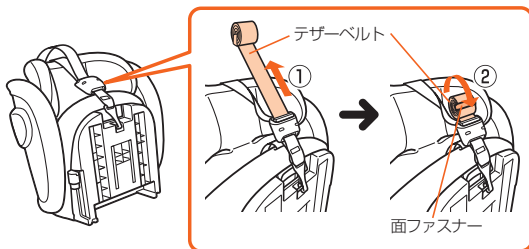


ワンポイント



このとき、テザーベルトがねじれた状態になりますが、使用上は問題ありません。

- 4** ①テザーベルトを締め付ける。
※本体を持ち上げた際にぐらつかない程度に締め付けてください。
②あまったテザーベルトはまとめて、面ファスナーで固定する。



収納モードでの保管のしかた・持ち運びかた

収納モードでの保管方法

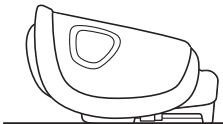
- ①寝かせて保管する場合は、座面を下にしてください。
- ②立てて保管する場合は、座面後部を下にしてください。



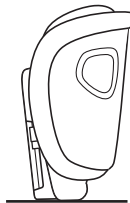
注意

- 収納モードで車などで運ぶ場合は、チャイルドシートが転倒したり移動をしないように注意してください。転倒や移動したチャイルドシートにぶつかる可能性があります。
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
- チャイルドシートに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
- 長期間「収納モード」で保管すると、シートカバーに凹みやシワが残る場合があります。

①



②



持ち運びかた

収納モードで持ち運ぶときは、チャイルドシートのテザーベルトを図のように持ちます。その際にチャイルドシートがぐらつかないようにテザーベルトで固定されていることと、コネクタが完全に収納されていることを確認してください。



注意

- 床などに置く場合は、破損しないように静かに置いてください。落としたり、乱暴に置くとは破損し故障や変形の原因となります。
- 土の上など汚れた場所には置かないください。故障や変形の原因となります。
- 持ち運ぶ場合は、テザーベルトで固定されてぐらつかないことを確認してください。










お手入れ・その他

お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

洗濯上の注意

	液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		アイロン仕上げ禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		非常に弱い操作によるウエットクリーニングができる
	日陰のつり干しがよい		

- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 洗濯機をご使用の際は、お使いの洗濯機の取扱説明書をよくお読みの上、洗濯してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 干すときは十分にすすぎ、軽く脱水し、形を整えてください。

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。
- 座面のウレタンクッション材は洗濯できません。



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトを傷めるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本 体

長期間使用しないときは、車からおろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、座面カバー下の取扱説明書収納部に保管してください。

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後12年」です。

標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険をまねくおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート(領収書)と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、
当社コンシューマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	製品名	ロットNo. <small>(座面背面に貼ってあるシールをご覧ください)</small>	保証期間 お買い上げ日より1年間 <small>(ただし保証規定による)</small>
お客様	お名前		お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒	TEL	
販売店	店名	TEL	
	住所		
修理メモ			

保証規定

1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマーブラザにお送りください。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷やぶれ。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタルなどでご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
7. 動作確認用電池は保証対象外となります。

- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちに記入願います。
- 万一故障が発生した場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- シート(領収書)を本書といっしょに保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマーブラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

Combi

コンビ
ジョイントリップ
アドバンス
air シリーズ

コンビ株式会社

■ ホームページ
■ オンラインストア(部品購入窓口)

combi.co.jp
combi.co.jp/store

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマーブラザにて対応いたします。

コンシューマーブラザ (Customer Service Center)
受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL.(048) 797-1000 FAX.(048) 798-6109

コンシューマーブラザ (Customer Service Center) /西日本担当
受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)
〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16
TEL.(06) 6942-0379 FAX.(06) 6942-0302

*コンシューマーブラザホームページ combi.co.jp/soudan